

地方創生加速化交付金（平成28年度実施事業）に係る効果検証結果

No	交付対象事業名	総事業費 (単位：円)	交付金 充当経費 (単位：円)	交付金 対象外経費 (単位：円)	本事業における重要業績評価指標（KPI）					
					KPI	本事業終了時 (実施計画)		数年後 (実施計画)		本事業終了時
						目標値	年月	目標値	年月	実績値
1	市内経済好循環創生事業	54,263,667	53,053,167	1,210,500	地域リノベーションによる地域経営人材の育成人数	1名	H29.3	13名	H32.3	1名
					市産品フェア出展企業商談率	84%	H29.3	90%	H32.3	58%
					地域リノベーション実施商店街の集客率 (本事業終了時基準日同条件日時対比)			15%向上	H32.3	722人
					市産品フェア出展企業売上高（平均） (本事業終了時対比)			3%向上	H32.3	平成29年度 集計予定

《内訳》

No	事業名	事業概要	総事業費 (単位：円)	交付金 充当経費 (単位：円)	交付金 対象外経費 (単位：円)	外部有識者からの評価
1-1	市産品フェア事業	市内の製品やサービスなどを市内外の企業や市民等に広く周知するとともに、本市職員及び近隣自治体に対して公共事業への活用をPRすることによって、市内企業の販路拡大と発展を図り、地域経済を活性化させる。	45,511,667	44,301,167	1,210,500	一定の来場者があり、かつ来場者が増加していることから、とても意義深いものである。 また、市内事業所の活性化など、効果のある事業である。 今後については、市外への広報強化、来場者の分析など多方面に渡り工夫を施し、イベントから実質化を図り、より効果的なフェアに発展することを期待する。
1-2	商店街活性化事業 (商店街空き店舗活用事業補助金)	商店街区域内の空き店舗を改修して新しく事業を行う際に、改修工事費の一部を補助し、市民に身近な消費チャネルである商店街の活性化を図る。	4,000,000	4,000,000	0	本補助金を活用した店舗が話題になり、努力が感じられる。 商店街の活性化にどの程度寄与したかの分析、利用店舗増加のための募集方法や補助要件の見直しを検討し、より力を入れて欲しい。
1-3	地域リノベーション推進事業	商店街関係者、学識、学生、地域のまちづくりに強い関心がある方等に対し、「メインストリートプログラム」の専門家を招へいし、商店街活性化に向けたノウハウなどを体得してもらい、人材の育成を図る。	4,752,000	4,752,000	0	具体的な成果には時間がかかると思われるが、実施する意義がある。 一過性に終わらないよう、「商店街をどのような町にするのか」をトータルで考え、数年かけて活性化を図ると良い。 ワークショップ開催回数の確保だけでなく、参加人数の増加を図り、当該地区以外での事業展開を期待する。